

第1回くらす部会会議録

日 時	2015年4月20日(月) 13:30~15:30
場 所	地域連携交流施設 2階 会議室
テーマ	1、本日参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内容	1、参加メンバー：16名 自立支援協議会に参加して良かったこと <ul style="list-style-type: none"> ・人や情報に触れることができる ・障害特性などざっくばらんに話せる ・社会参加のきっかけ作りができる ・身近になった ・情報を伝えやすくなった ・行動につながるようになった ・この場で知り合えた人とはハードルが低くなった ・播磨町の仕組みがわかる ・いろいろな意見が聞ける ・情報が入ってきて増える ・宿泊体験(お泊り会)が続いているのが良い ・グループホームの見学ができて良かった ・いろんな人と知り合えてよかった。出合えることができる ・情報を学校に伝えることができる ・ワークショップなど課題について意見を表明できた ・グループホームなど考える機会となっている ・本人活動ができるようになった ・HP、マップなど情報発信ができています ・定期的に集まること 播磨町地域自立支援協議会が不足していること <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト面やハード面で行政以外で協議すること ・いろいろな障がいの方の声を吸い上げ ・参加者が少ない ・事業所の困り事や課題など聞きたい ・情報の引き継ぎ ・周りへの情報の発信 ・共通理解を深めること ・事業所の連絡会 ・愚痴を言える関係から、地域の課題解決に還元できるようになる ・当事者の参加

2、協議課題

▽宿泊体験（旧お泊り会）について：報告

見学会：6月20日（土） 播磨町デイサービスセンター

宿泊体験：①7月31日（金）～8月1日（土）

②9月4日（金）～5日（土）

③10月30日（金）～31日（土）

▽今年度の取り組みについて

○体制のイメージ（情報の共有・正しい情報の伝達）為の資料作り

（参考資料：延岡市におけるライフステージごとの障がい児・者を支える仕組みと課題）

意見

- ・具体的な事業所名があって見やすい
- ・障がい別で見やすい
- ・1枚でぱっと見れて良い
- ・困った時に探す所がわからない
- ・情報がいっぱいあって見にくい
→目的別・そだつ・くらす・はたらくステージ別が良い
- ・家族支援で事業所の情報があるか
- ・用語解説がない
- ・使う人のレベルにあったものではない
- ・障がい種別にあった 当事者が使いやすいものがない
- ・Q&A項目があった方がいい
- ・誰がみても分かるようにしたい
- ・計画相談などの支援が入る前だと正しい情報が入りにくいので、支援が入る前の人に向けて資料があつたらいいのではないか

検討

- ・窓口が分かれば必要な情報が届くのではないか（参考資料：保存版 教えて！ひめじの福祉・保健 相談窓口）
- ・相談窓口・フローチャート（基本的な流れ）・Q&Aと項目を分けて作っていけばどうか
- ・相談窓口を考えるために、困り事の例をそれぞれの立場から挙げてもらう
→期日を決めて、提出

○共同生活のあり方

報告

- ・播磨町役場の現状について
150ぐらいの事業所に、グループホームについてのアンケートを実施・集計中
現在は、播磨町でグループホームを運営することは考えていない

意見

- ・現在の宿泊体験は、親と離れて過ごす体験をするためにデイサービスにお願いしている。
自立した生活を目指した調理体験も含めた宿泊体験や、ヘルパーさんやボランティアさんを活用する方法もあるのではないか
- ・どんな生活があるのか、体験談を聞いたり見学に行ったり、知る機会を作ってはどうか

→行ってみたい。今年度の活動とし、次回部会で検討

○災害時の地域連携と避難システム作り

・今年度の西小避難所運営訓練は、時期未定

→時期が分かればお知らせする。危機管理グループと連携しながら検討

3.その他

○そだつ部会

・第1回「かけはし書き方教室」：6月9日（火）10：00～11：30 地域連携交流施設
7月12日（日）11：30～13：00 地域連携交流施設

○はたらく部会

・第1回「はたらくみんなのお茶会」：7月5日（日）14：00～15：30 地域連携交流施設

○推進会議・全体会：6月26日（金）9：30～12：15（全体研修会は10：30～12：15）

播磨町役場 ABC 会議室

全体研修会 「計画相談の活用方法」～地域で彩りある生活を送るために～

講師：地域支援センターあいあむ 濱口直哉氏

4. 次回開催日の調整

H27年6月17日（月）10：00～12：00 地域連携交流施設

--	--